

裾野麗峰山の会・山行報告書	文・山田敬	写真・後藤
山行NO. 1981		
日時 2022年07月09日(土)		
山域 ハッ・西天狗岳(2646m)		
コース 長泉5:00-8:02唐沢鉱泉-渋の湯分岐-黒百合ヒュッテ10:29-東天狗岳 12:37-西天狗岳12:57~13:51(昼食)-西尾根-唐沢鉱泉16:42 -長泉(反省会)		
標高差 唐沢鉱泉約1870m~西天狗岳2646m=776m		
藪漕度 なし		
難易度 非常に困難 困難 やや困難 レ普通 やや易しい 易しい		
オサバグサ、東天狗・西天狗の山頂は青空絶景		
参加者 後藤、井上、伊藤ち、山田敬、斎藤=5名		
ど〜が〜 http://susono-reihou.babyblue.jp/0000-41.mp4		

このところ天候が不安定で、雨は避けたいなと思ったが、結果的に日差しは強すぎず山頂では青空も見えて、涼しさを感じながらの山行に。初のハヶ岳でしたが、今まで経験した山域とは違う魅力を感じることができました。

スタート地点は唐沢鉱泉。8時前に到着したが、すでに駐車場は車でいっぱい。いろいろな地域のナンバーがあり人気のスポットなんだと思いつつ、登山開始。



唐沢鉱泉

今回は、通常一般の人が進む西天狗岳経由ではなく、時計回りの渋の湯分岐から黒百合ヒュッテ経由で、東天狗岳から西天狗岳に登って昼食の計画。

登り始めてから、後藤さんがなぜこのルートにしたかを説明してくれた。登り始めた一帯は湿度が保たれているからか、足元は湿っている。しかし、道はゴロゴロした石だらけ。しっとり濡れた石にコケが生えていたりして、景色としてはきれいだが、歩くとなると、歩きづらい。ここを下るのは滑りやすいから危ないとのこと。確かにこれは気をつけながら降りないと、転ぶ人はいるだろうな（石の上で転ぶと痛いし）と思いながら登る。



ゴロタ石の道

道中、「オサバクサ」に出会う。「箴葉草」と書く。名前は、葉が機織りの「箴（おさ）」に似ているからついたという。確かに珍しい形をした花だなとは思いますが、花の名前は覚えられない。

だいたい山の花はカタカナの長い名前が多い。一緒にいた伊藤さんも斎藤さんも「わー、かわいい」と、道中の花を見つけて楽しんでいるが、私は本当の花の楽しさをわかっていない。スマホで写真を撮って名前が正しいかを検証する係で、勉強中だ。



オサバクサ

樹林帯を抜けたら黒百合ヒュッテに着いた。10時30分。おお！人が多い。若者も多い。アウトドアブームを感じる。短パン、Tシャツで来ている人もいる。転んだ時に大丈夫かなと思う。しかしアウトドア通販サイトの夏山ファッションは、こんなカジュアルな商品が多い。欧米系の外国人の方もちらほらいた。

彼らも白い足、白い腕を出してここまで来ている。日焼けしないのか、しっかり日焼け止めを塗っているのか、余計な心配をしていたら、休憩が終わる。ここから東天狗岳に向かう。



スリバチ池

天狗の奥庭までは、ほぼ岩登り。ごつごつとした大きな岩を登っていく。スリバチ池には水がなかった。6月ごろまでは雪解け水があるらしい。天狗の奥庭からは左手に東天狗岳、右手に西天狗岳が青空の下に大きく見える。

山っていいなあ、なんて思いながら、時計を見ると11時。東天狗岳に登る途中、突然、斎藤さんの足がつってしまった。

どうしようと思って、反対側から降りてくる人に「ツムラ68」ありませんか？と声を掛けたら、「ありますよ」と快くおじさんが1袋くれた。

ありがたい。薬を飲んだら斎藤さんはすぐに回復。あまりに早く復活したので「プラシーボ効果＝有効成分が含まれていない薬剤（偽薬、プラセボともいわれる）によって、症

状の改善や副作用の出現が見られること」じゃないの?などと冗談を言いつつ、なんとか東天狗岳へ。登頂者も多く、順番に記念撮影。



イワツメクサ

この時点でもう12時を過ぎていて、一旦、昼食をとろうとしたが、食べてから、西天狗岳まで登るのは結構つらい。もうひと踏ん張りしようと、隣の西天狗岳まで向かう。

ここの稜線歩きは全体が見渡せるので気持ちがいい。とはいえ、断食修行状態。あまり楽しむ余裕なく、力を振り絞って、やっと西天狗岳に到着。時間は13時頃。唐沢鉱泉から5時間。昼食を楽しんで、体や足を休ませる。



東天狗岳

西天狗岳を出発したのが14時くらい。ガスも出てきたので、下山を急ぐ。途中、逆ルートで向かう親子連れにも出会った。お子さんは小学生くらい。今日は黒百合ヒュッテに泊る予定だそう。

小学生でよくこんなところまで登れるなあ、自分も小さな時からそんな経験を積んで大人になったら、どんな風になっていたんだろうと思った。

よく考えれば後藤さんもそんな経験者の一人。若い頃の経験は、後々自分が長く楽しめる趣味になったり、生きがいになったりすることもあるから大切だよなあと思いつつ、下る。

第二展望台、第一展望台と過ぎて15時。結構、だらだら下る。今回は標高差が800mほどなので、膝が痛くなるようなことはないが、歩きやすい道かというと、岩場や木の根がいろいろあって、それなりに注意していないと危ない。16時はすぎて、残念ながら

もう温泉に入れる時間ではない。まだかまだかと思って降りて、16時30分すぎにやっとゴール。いやー楽しかったけど、長かった。(笑)



西天狗岳上り



西天狗岳

駐車場に戻って、着替えていたら、アブが群がってくる。車中にアブが数十匹（数えてないけど体感値）。ちなみに私は虫が大嫌い。

後藤さんが「ドアを閉めて、窓を開けながら走れば、出ていくから、早く乗って！」というので、人間5名、アブ様、数十匹同乗で出発。

アブを払いのけながら、走り出したら、本当に数分でアブが車中からいなくなった。さすが後藤さん。山の経験値に助けられました。



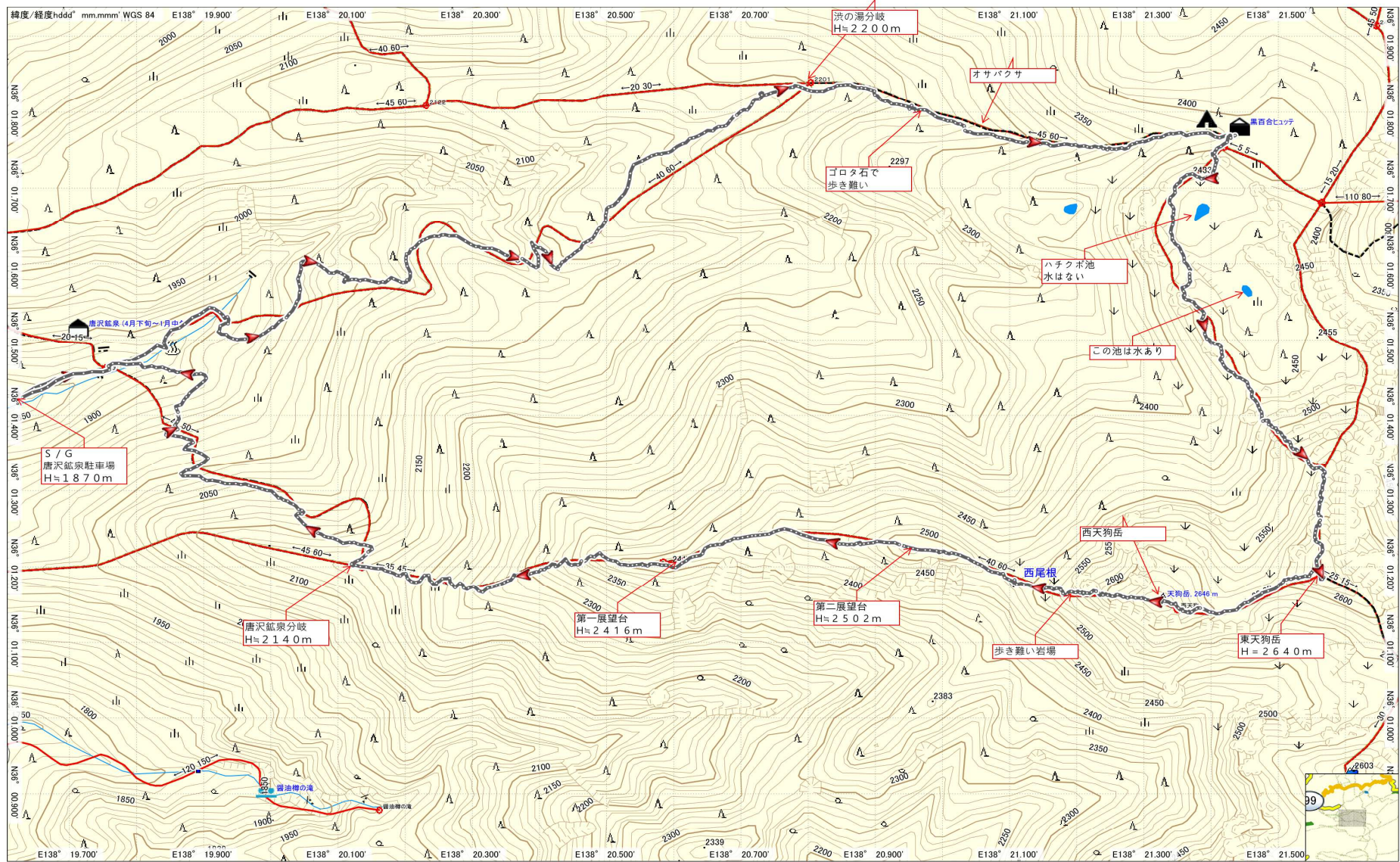
第二展望台



第一展望台

その他の記述（後藤）

1. 観察花＝オサバクサ（箴葉草）、白山石楠花、イワツメクサ（岩爪草）、岩鏡、ゴゼンタチハナ（御前橋）、コケモモ（苔桃）、ツガザクラ（栂桜）、ツマトリソウ（棲取草）、キバナシャクナゲ（黄花石楠花）、ミヤマダイコンソウ（深山大根草）、シロハナヘビイチゴ（白花蛇莓）、ミヤマカタバミ（深山片喰）、など
2. 黒百合ヒュッテ道で、小屋の歩荷（ボッカ）に会った。
3. スパイク長靴のオジサンに会った。蒸れて暑いそうだ。（そりゃそうだ）
4. 痙攣体質など、個人疾患がある方は、他人は分かり難いので、ツムラなど常備すべし。
5. 唐沢鉱泉入浴時間は15：00入場まで。この時間は、なかなかキビシイ。 以上



Japan Topo 10M Plus V3
 © Garmin/MapInfo Co., Ltd 2014
 Garmin Corporation 1985-2014

2022/07/12 11:35:16

0 m 100 m 200 m 300 m 400 m

GARMIN